

第2回 商業有人低軌道ワークショップ2026 開催案内

(仮称)ポストISS時代に向けた宇宙実証の進め方と利用機会

<開催目的・概要>

- 2030年の国際宇宙ステーション（ISS）運用終了後（ポストISS）の地球低軌道では、商業宇宙ステーションの運用開始などにより、低軌道利用サービスを提供する主体が官から民へ移行するとともに、2040年までには地球低軌道上サービス市場が約3兆円規模に成長するとの試算が示されています。宇宙戦略基金においても、第1期から民間ステーションの実現を見据えた技術開発テーマを設定し、研究開発が進められてきています。
- 本ワークショップでは、今後の商業有人低軌道活動を「宇宙環境を活用した様々な利用、装置開発」視点から掘り下げます。これまでのJAXAによる宇宙環境利用を踏まえた共通課題や対応策などをご紹介しますほか、安全審査の基本についての解説、「きぼう」利用サービスのご紹介、商業宇宙ステーション（CLD）における利用サービスに向けた個別相談会を実施します。

1. 開催日時

2026年7月21日(火) 13:00～17:00（受付 12:30）

※16時までのイベント終了後に、名刺交換などの交流の時間を1時間程度設けます。

※参加方法は現地・オンライン配信のハイブリットです。

オンライン配信の接続先（URL）は5月10日頃にメールにてご案内予定です。

2. 開催場所

X-NIHONBASHI TOWER カンファレンススペース

東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー 7階



3. 申込方法

申込期限：2026年7月17日(金) 13:00まで

申込先：[申込フォーム（別ページにリンク）](#)



※現地参加について、会場の最大収容人数を上回るお申込みがあった場合は、1団体からの人数を絞らせていただくとともに、抽選とさせていただきます。

4. 問い合わせ先

本件に関するお問合せは以下アドレスまでご連絡ください。

SSF-kouhou*.ml.jaxa.jp *.ml.jaxa.jpを@に変更して連絡してください。

商業有人低軌道ワークショップ2026 アジェンダ

時間	内容	登壇者
12:30-13:00	受付	
13:00-13:05	開会挨拶	中須賀 真一（立命館大学 総合科学技術研究機構 教授）
13:05-14:15	【有人・無重力環境における共通課題と対応方法】 ・無重力環境における共通課題：酒井GP（10分） ・パネルディスカッション(20分×3件) ①小動物飼育装置（MHU） ②自動溶液交換器具2型（T-DOCS） ③ライブイメージングシステム（COSMIC）	酒井 純一（JAXA 宇宙戦略基金事業部） ① ・芝 大（JAXA 有人宇宙技術部門宇宙医学生物学研究グループ） ・落合 俊昌 様（三菱重工業株式会社） ② ・山崎 誠和（JAXA 有人宇宙技術部門宇宙環境利用推進センター） ・安西 洋平様（株式会社アイカムス・ラボ） ③ ・山崎 誠和（JAXA 有人宇宙技術部門宇宙環境利用推進センター） ・谷井 はるな様（千代田化工建設株式会社）
14:15-14:55	安全審査の基本について ・ベストプラクティス 具体的事例を交えて	鈴木 禎嗣（JAXA 有人宇宙技術部門有人システム安全・ミッション保証室）
	質疑応答/休憩	
15:10-15:40	宇宙実証機会を利用するには ・きぼう有償利用制度の説明（15分） 調整窓口・タイムスケジュール・仕様・IFなど ・商業宇宙ステーション（CLD）における利用方法(15分)	きぼう有償利用制度 軌道上利用サービス提供事業者： ・Space BD/日本低軌道社中/有人宇宙システム株式会社（SORaXIOコンソーシアム） 商業宇宙ステーション(CLD)提供事業者： ・Axiom・VAST・三菱商事
15:40	閉会挨拶	佐々木 宏（JAXA 宇宙戦略基金事業部）
15:45-	個別相談会 きぼう有償利用・ CLD利用	社中・JAMSS・BD AXIOM・VAST・三菱商事